

令和yy年mm月dd日
株式会社○○○○
肩書 氏名

一般社団法人 国際建設技術協会
理事長 橋場克司 殿

プロジェクト形成調査実施に係る申請
(申請書)

下記に示すプロジェクト形成調査を実施したいので、別添『プロジェクト形成調査
案件概要票』を添えて申請します。

記

1. 対象国 : 国

2. プロジェクト形成調査名称 :
和:○○国道100号線改良計画
英:Preliminary Study for Improvement of National Highway No.100

3. 希望調査期間 : 令和●年■月(上・中・下旬)(約▲日間)

4. 想定する事業スキーム^{※1} :

※1 無償、有償、技術協力プロジェクト、開発調査型技術協力、国際機関発注事業、
PPP事業等より選択

以上

【別添】 プロジェクト形成調査 案件概要表

国 名		案件名	和：○○国道 100 号線改良計画 英：Preliminary Study for Improvement of National Highway No.100	調査希望実施時期 20**年*月頃
調査分野 ^{*1}				
実施機関名：公共事業運輸省(MPWT)			TEL：(+△△△)××-○○○○○○○	
コタクト先・役職：			FAX：(+△△△)××-□□□□□□□	
他関連機関名：				
<p>【プロジェクト^{*2}提案の背景】（「プロジェクト形成調査」を通じて目指す将来事業の提案背景） プロジェクトの必要性について具体的に記載してください。</p> <p>○○国道 100 号線は、南北の軸である国道 99 号線から隣国へつながる幹線道路 且つ△△国と○○国を結ぶ物流最短経路の一部を成している。 本「国道 100 号線」はその幹線道路の中でも二大都市間の物流ルートとして最短・最速にも のではあるが、△△国に抜ける 15km 程度は最高標高 700m の山岳部を通過し、線形不良箇所、急勾配箇所、崩壊性法面区間を多く含んでいる。 その為物資輸送に時間がかかるだけでなく、法面崩壊などの自然災害によって定時性が保た れない事態も発生している。本案件は、同路線の山岳区間の要改善箇所を抽出して改善計画 を策定すると共にその必要性や○○国政府の意向を確認し、更に本邦企業の受注可能性を 高める方策を検討するものである。</p>				
<p>【プロジェクト^{*2}の概要】（「プロジェクト形成調査」を通じて目指す事業の概要）</p> <p>① 国道 100 号線（○○国側）△△国境の近辺約 30 KM での斜面防護工事及びトンネル建設。 ② △△国側 100 号線の○○国境付近の山岳地帯での斜面防護工事及びトンネル建設。</p>				
<p>【予想される裨益効果】</p> <p>1. イとロの両都市に工場を持つ日系企業（自動車会社、電子機器メーカーなど）の両都市 の工場間の物流の効率が飛躍的に改善される。 2. ○○国にチップ工場を持つメーカー、及び△△国の中南部にやはりチップ工場を持つ商 社の都市間の物流効率が改善される。 3. ○○国南部の農産物の△△国の港（Z 港）への物流が改善される。 4. ○○国の中南部も△△国の中南部もそれぞれの国で最も貧困といわれている地域であ り、この国道 100 号線の改良は両国の貧困地域の生活改善に資するもので「貧困対策」 の一環となりうる。</p>				
<p>【プロジェクト形成調査で実施する内容】</p>				
<p>【開発協力大綱、国別開発協力方針、SDGs 等と提案内容が関連する目標や方針】</p> <p>○○国における現在実施中のODA案件は以下の通り。</p> <p>① A 橋整備計画（無償援助）協力準備調査 ② 国道 88 号線改修計画（現在施工中） ③ 道路維持管理能力強化プロジェクト（20**年*月*日まで） 他の援助機関では ADB が国道 3 号線及び WB が 77 号線の道路整備を、▲国が国道 66 号線の整備を行っている。</p>				

【対象国における関連分野の中長期計画の有無と、同計画における提案内容の位置づけ】

有 (名称: Development Plan Connection of the National Roads) • 無
位置づけ :

【過去における同類案件提案の有無】

有 (_____年) • 無

【日本政府、他ドナーへの過去の要請有無】

有 (正式要請 非公式要請
要請先_____、_____年、検討中 不採用)
無

【要請の協力形態 (開発調査型技術協力、無償、有償 (STEP 含)、技術協力プロジェクト】

基本的には円借款を考えているが、案件にトンネルを含めることで、結果的に本邦企業の受注確度を上げるようにしたい。

他 ()

【現地 ODA タスクフォースとの連携^{※3} (アタッシェ、専門家等との関わり方)】

JICA B 氏 (国交省、**局出身) 専門家からは全面的にご支援を頂いている。

【備考 (治安問題、実施機関の当該分野における維持管理能力、その他関連情報等)】

今回、国道 100 号線の△△国側の状況もチェックし、その状況次第では○○国・△△国の二国間に跨がる案件形成を行う。

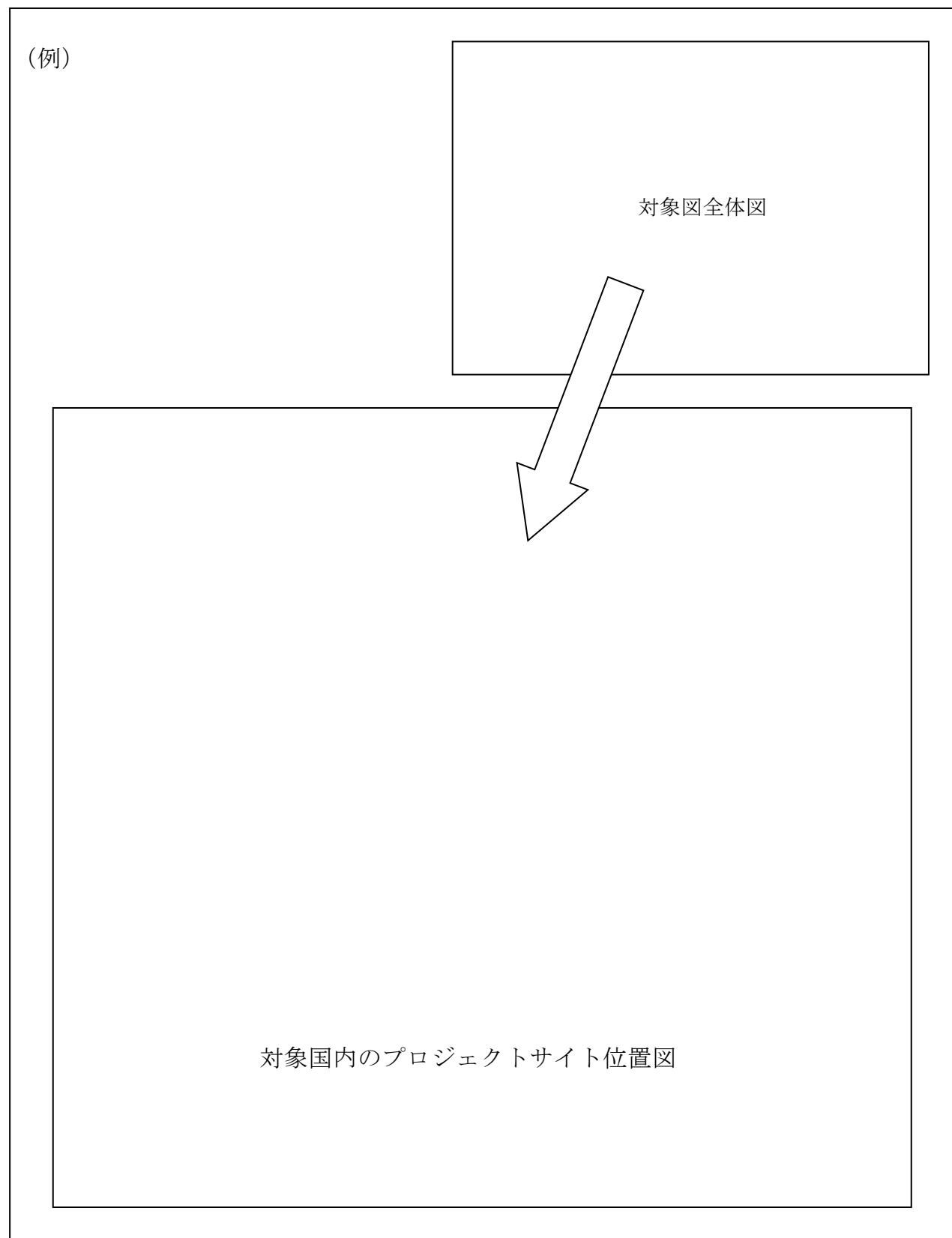
提案者	提案者の団体名	XYZ 研究所
	担当者・役職	
	連絡先	TEL : E-mail :

【自由記述欄】

対象地域略図を、A4 用紙 1 枚に別添して下さい。次頁図参照のこと。

(記入年月日) 令和 年 月 日

調査対象位置図【A4 又は A3】



※必ずしも、上記の例に拠らなくとも可